THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

遞信省認可

明治二十年七月十五日

定價金四錢

女學雜誌

第六十六號

毎月三回發行

績文舍

Digitized by Google

Original from
CORNELL UNIVERSITY

目錄

〔女學叢誌〕男女の未來●〔中外新報〕數十件●〔學藝一斑〕心意發育論●〔論說〕婦人の當に學ぶべきものゝ壹二(矢田部良吉君演說)〇日本弘道會に就て一言す(西村茂樹君演述)●〔新作物語〕閨の徹夜燈(南翠外史述)●〔家政要報〕西洋料理の簡便法肉の部、生大口魚の料理、鹽大口魚の料理〇氷の相場〇養蠶の景況●〔御伽草〕數學問題、考へ物の題、六十三號數學答式同考もの答●〔寄書〕幼稚保育の心得

女學叢誌

〇男女の未來

人類素と神明の靈あるにあらねば未來の事甚だ言ひ易からず其或ハ數百年數千年の行末ハ斯く爲るべし斯くあるべしなど云ふハ唯だ斯くならざるべからず斯くあらざるべからざるの常數天理に基て之れが觀察を爲すに過ぎざるのみ今吾人が男女の未來を說んとするも唯此常數天理と云へる山の巔に登り今日人間下界に吹く風の方向を察して未來に起る波浪の如何と豫測推定するに外ならざるなり

今試みに數千年以往に遡つて怒濤跳て岸崖を打つの所に獱獺と戯れ胡沙吹く風の荒野に野獸と群を爲し飽けば眠り飢ゑれば走つて食を求むる榛々狉々の蠻域に旅行して其狀態を視察せよ此等の蠻族社會に在てハ婦女獨り果して今日未開國に於けるが如く男子の下風に立ちたりし乎男子果して善く婦女を使役したりし乎想ふに離合聚散常なき蠻民社會に在てハ人々個々唯だ自營自存の道を求むるの外なかりければ強者ハ自然自存の爲め弱者を抑壓せしとなるへし左れば婦女子と雖ども腕力強く智慧多き者ハ己れに及ハざる者(男子と雖とも)と抑壓せしとあるべし數千百年を經たる今日にてこそ男子ハ一般に婦女よりも腕力強く婦女ハなべて智慧才能男子に敵せざるが如く思ハるゝなれど這ハ抑も深き原因の有るとにて初めよりして男女の間に斯く腕力智能の差別ありしにあらず水草を逐ふて移住せる蠻民も年月を經るに隨ひ稍や其居所と定め又其配耦をも定めて星霜を送るうちには配耦も遂に身重りて子を産むに至るべし是までの如く離合集散常なく晨に相ひ睦み伴ふて海濱を漂泊して食餌を求めたるも夕ハ睽離商參して相ひ顧みざるが如き時にハ偶ま相逢ひ相睦みて子を産むこともあるも何れが其配耦とも定まらざれハ現在己れの子の目前に遊び戯むるゝも己れの子たるを知らず又隨つて慈愛心も起らざれとも既に稍や其居所と定め又其配耦をも定めて嬰兒を産むに至れば如何に無智なる蠻民にても天に飛ぶ鳥地に匍ふ獸でさへ情けあるものをいかで愛情のなかるべき現在己が配

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

耦より己れに肖たる孩兒の產まれしと見て其之を慈愛すると同時に亦た其配耦をも一層深く相想ふの情を起すに至るは是れ天禀の情性にして古今文野を亘りて異同あらざる所なり

左れば是までは相伴ふて磯吹く濱邊をあさり步ひて食物を求めしも既に嬰兒の產れて見れば流石に愛憐の情に引かされて配耦をば假の住居へ遺し置き孩兒の看護を委ね己れは以前に倍せる骨打を爲して食物を求むるに至るべし斯くて漸く一家を爲すに至り年月を累ぬるに隨ひ妻は彌よ家內の事にのみ任じ所夫は專ら外事に當るとゆへ男子は是までよりは一層の勞働を爲し更に多くの危險困難に出逢ふとなれば之れに打ち勝つの思慮を運らさゞるべからざるも婦女は以前に引きかへ唯だ內事にのみ任ずるゆへ左のみ危險困難にも出逢ふとなければ自然其腕力智能の運用を失ひ次第に之を減却するの傾向を現はすべし於是乎始めて男女の間に腕力智能の等差を見るに至る其初め配耦として假の住居に遺し置き己れ獨り磯吹く風の海邊をば馳せ回りて艱難辛苦を身一つに引き受けて更に厭はざるは愛憐の情より出でたるものにして此時に在ては男子は却て婦女の奴隸にして婦女の爲めに使役せらるゝ者と云ふべし如何となれば此時に方ては其腕力と云ひ其智能と云ひ敢て男子と逕庭あらざれば男子が海濱をあさり步ひて食物を求む業は婦女と雖とも善く之と爲し得るの智能腕力を有し毫も男子に劣る所なければなり然るに星移り物變り世を累ね代を歷るに隨ひ婦女子は漸次其智能腕力を磨くの道を失ふに引き換へ男子は更に多くの危險困難に出逢ふとゆゑ之れに打ち勝つ爲めに益く之を研磨し其腕力智能に於て大なる等差を生じ遂に婦女子は愈々其力を消失して男子に依らざれば殆んど自營自存する能はざるに至る是れ男子の漸く之を侮り己れの力の強大なるに誇るに至る所以なり

（未完）

◎中外新報

○東洋英和女學校　麻布鳥居坂町の東洋英和女學校にては去七日定期卒業式を行はれ生徒の英詩暗誦、ピヤノの合奏、オルガンの合奏又は獨奏、唱歌、對話、英語對話、音樂等もあり又生徒高須小夜女は「日本婦人將來の目的」と云ふ演題にて演說し同橋口ふみ女は「過去現在未來の日本婦人」と云ふ題にて作りたる英文を朗讀し何れも拍手喝采せられ當日內外國人の來客無慮百數十名もありて甚だ盛なる卒業式なりし同校は去明治十七年の創立に係り初年は入校生徒五十名なりしが第二年

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

目になりて百五十名第三年目の本年に於ては二百八十九名ある由にて益々増加する有様なれば目下外國教師五名あれども猶は不足なると以て不日一名増員する筈なり當日より夏休の爲め閉校せしが例年の通り九月十日より開校せらるゝよし

○女學校新設　大橋花子女史が校主にて今度芝區櫻田兼房町十三番地に東京女學と云ふを設立せしが其學科は英文學、和漢學、和洋裁縫、編物、刺繍、組糸、和洋料理、唱歌、音樂、踏舞、圖畫、挿花、茶湯、衛生、家事經濟、修身、諸禮等にして總て文明婦人の學ぶべき科目を教授し實用速成を旨とし我邦の婦徳をして益々上進せしむるの目的にて教師は何れも久しく外國に留學し若しくは我公使館に在りて充分實用女學に經驗ある内外の貴婦人なりと又遠國にある人若しくは土地不便にして同學に入ることを得ざる者或は已に人の妻と爲り家事多忙の爲入學の餘暇なき者の爲に校外生と募り一の通信教授書と編纂して之を配布し又校外生となりて出張教授を乞ふ者あるときは其人の宅に出張して望みに應じ何科なりとも丁寧に教授するよし

○婦人慈善會の名譽書記　吉田外務属には今度婦人慈善會の名譽書記に撰定せられたり

○華族女學校　華族女學校は去る四日より十一日まで定期試驗を執行せしが十二日より九月十日迄夏季休業になりたり

○婦女に市政權を與ふ　米國カンサス州の新市法は婦女に投票權を與へ又カリフオルニヤ州のストツクトン府の住民は婦女に市政權を與へて實驗を爲すことに決定し同府の區長議員等は總て婦女を以て之に充て自今一箇年間同府を以て婦女の管理に委し運河鐵道其他の公業を監督せしめ其成蹟を實驗する筈なりと去九日の官報に見えたり

○東京金蘭會　同會はその主意書にある如く男女の交際を自由にし樂で淫せず琴瑟和樂して互に交際上より生ずる利益を得んと云ふの主意にて是迄三回開かれたる由なるが去十日午後第一時より芝公園地内紅葉館に於てその第四回を開かれ女學史も兼て招待に預り居りたれば其筵に列りて親しく模樣を目撃するを得たり扨委しくその景況を記さんに當日來會者の數は男女合せて殆ど三百名に近く同會の始りてより以還當日が一番來會者多かりし由にて同館の樓上に令孃令婦人その他の婦人達は男子と打集ひ紅葉の間より赤羽根、三田、高輪、邊の好氣色を眺めつゝ敎育上の話を爲す人もあり或は學會の話をする人もあり學校の話とする人もあり或は舞踏會の噂をする人もあり或は唱歌、音樂等の話とする人もあり或は新聞

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

雑誌に見えたる事を種にして語らひ合ふ人もあり或は西洋婦人服束髪の結方等の話をする人もあり或は彼處に或は此處に團欒してトランプを弄ぶ人もあり始めて逢ふた者も舊識ある如く互に四方の事杯を話して相親むの有様、男女交際の會合は斯くありてこそ眞に双方ゝ利することを得らるゝならんと思ふ程なりき須臾して東京府師範學校の唱歌教師四竈訥次氏がバイチレンを引き日本橋區本革屋町常磐小學校の教員吉川信二郎氏がオルガンを引て東京府師範學校附屬小學校の生徒（男子四名、女子五名）に女子には紫色の袴を穿かせ男子には淡鼠色の揃の洋服を着せて「そるがなる、富士の高根を、仰ぎても」富士筑波、「泥の内より、ぬけいでゝ」白蓮白菊の唱歌を謡ひ可愛小さき口より唱へ出せる聲の最優美くして能く熟練したものと見え節調も甘く整ひたれば近頃唱歌流行にて度々聞きたる人も多くあらんずらんなれども一入座興を添て人々面白かりしならん夫れより雅樂を奏し盤渉調の青海波、越殿樂、蘇莫者等なりしが例の琵琶、箏、笛、笙、篳篥等の樂器にて其聲泣が如く訴るが如く憂るが如く怨むが如く一座シーンとしたれども女學史は無風流のたちにて雅樂杯は毎度聞ても一向分らず評の下し様なし列席の人の中には天保時代の物好き老人ならば雅樂を面白しと云ふ者もあらうが本會の如く若き男女の集會の席には解らぬ人多くして座興にあらず又文明國の風に倣ふたる本會には古めかしくて些ト不似合などと云ひながら欠伸する人もある樣に見受けたり女學史は自分に解らぬから雅樂を嫌ふにはあらざれども此の評は至極尤もの樣に思る其次に法學士岡山兼吉氏が男女交際の事に就て演説せられ其主意は同會の主意書に男女同權と計らざる可らず云々とあるが同權は幾種にも解せらる若しも女子と男子と同樣の仕事とせよと云ふ如き主意ならば大なる害ならん女子の躰格の組織、及びその性質も各ゝ男子と異なるものなれば同一の働きを爲す可らず分業法に據るをよしとす云々又文學士土子金四郎氏、末松謙澄氏等も同會の事に就ての意見を述られしが土子氏は大學のセコンド圓朝と云はれたる位の人にて座して扇子をパチゝやりながら洒落な語を交て固い議論と柔に述べられしかば聞く皆人頤を解きたり何れも一々筆記したるに付追て本誌に掲載する筈なればその説は論説欄内に就て見られよ右演説を了り四竈氏は前の生徒を率てバイチレン、オルガンに合せて今度同會にて拵へられたる新作の唱歌を歌ひしが是れは金蘭會の事を歌に寓せたるものにて「蘭てふ草

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

もこかねをも、末をちぎれる友とちの、その眞心にたくひつゝ、むつみあふこそ樂しけれ　花のこずゑに鳥ぞなく、花の木蔭よ喋ぞ舞ふ、そのかまに〳〵うち興し、共にあそぶぞ面しろき君の代にあふ嬉しさは、思ふ友とちよりつどひ、むつみかたらふ赤星の、わかぬは今日の團居なり」と云ふ唱歌なりし其次には紅葉館の例の紅葉踊りにて「やまと二四季、もゆるかへての、いろこそまされ、このめはるさめふるたひに、かせにそよくや、かへてのあをは、ひとのこゝろもなひくまて、さけくみあはし、もみちのいろに、いてゝあそはむおもふとち、ゑもはいつまて、ちぎりとむすふ、こずゑはなれしもちはに」の歌を胡弓、三味線、琴の三曲に合せて三名にて踊り又壬生狂言もあり何れも西京風の踊なれば最やさしくその衣裝も東京と異りて殊に娘子達には面白味多かりしことゝ察せらる引續て又唱歌をする前に實行教中教正柴田花守翁が從來の子守歌の野鄙にして猥らしき處もあれば小兒に聞かせて他日教育上の害ともならんことを恐れて之れに代る子守歌を作りて寄せられたれば四竈氏は試みに夫れをバイチレンに合せ又從來の子守歌も引かれたるがその新作歌は「天地のなかにはらめる人のみは、みなはらからとゑたしみて、まことをつくしをさをまもり、とものまじはりあつくせよ、ちぎりしことをたがへぬは、ゑたしみむすぶいとゝなり、うはべとかざるいつはりは、まじはりをたつをのとなる、こゝろなきてふくささだに、こんはるみんとちぎりたる、はなはこずゑよゑみてまち、のべのちくさはゑらつゆの、むすびてはあのひもをとく、人はよろづのをさなれば、あめのまことのみちとふみ、とものまじはりあつくせよ〳〵」と云ふ親睦の歌なり夫れより前の如くバイチレンとオルガンに合せて唱歌を歌ひ即ち「さきにほふ」四季の月、「一ットヤー」數歌、「三千餘萬あにをとどもよ」軍歌等にてありしが右畢て午後六時になりたれば一同退散せられ近頃珍らしき盛會なりし幹事方の案內にて同公園地傍なる萬勝軒に於て新聞記者其他の人十數名に洋食の饗應もありたり猶八月は休會し九月よりは一層盛に開會せらるゝ筈なれバ下に記したる同會の主意書を見てお氣に入ば男子も女子も來會して自田に交際せらるべし若し又右主意書望の人は飯田町三丁目十八番地石橋方同會假事務所へ宛て郵税二錢を送附それば主意書を送達するとの事なり

東京金蘭會　主意書

國の文明を望む世の開化を得んには男女同權を計らざる可

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

からず男女同權を得んにハ男女の交際を自由にせざる可からずとハ輿論の定義今更喋々を要せざるなり我國近來漸く社會改良の議論囂しく茅葺瓦家根の日本家ハ宜しく石造煉瓦の西洋館と改めざる可らず優柔不活潑なる振袖風の日本服ハ宜しく活潑敏捷なる筒袖の西洋服に改めざる可らず口取さしみの日本料理ハ左にフォーク右にナイフの西洋食に改めざる可らずと徒に外部の改良にのみ心を奪ハれ更に内部精神的の改良に意を留めざるハ實に歎ハしき事なりかし左るからに男女交際の會合處々に流行し何某の舞踏會何某の談話會とさ〱盛んに行ハるゝハよけれども多くハ其取締嚴正ならずして間々歎ハしき悼ましき風評を耳にすること頻りなり余輩此れを憂ふる事久し近頃同志の者數名と計り東京金蘭會と云ふ會合を組織して毎月一回適宜の場所に男女多人數會合し互に團欒閑談の中に智識を得るのがまに〱遊戯を催し又有名なる樂人を招て各々得意の技藝を演せしむ(但し落語義太夫如き淫陋に流れ易き技藝ハ嚴禁す)時に或ハ會員有志の諸子として合奏を爲しめ務て來會諸子の愉快と計畫せり素り此會合ハ權利均一を主張するなれば會頭もなく會主も無く權利自他平等にして只取締りを嚴格にし男女數名の幹事を撰擧して本會一切の事務を擔當せしめ規則の如きも務めて簡單にして會員諸子の自由を計畫せり願くハ世の開化を計り國の文明を望まるゝ紳士貴女ハ左の條件を御一覽の上本會の主意を賛成して一臂の力を盡し賜ハん事をひたすら祈るになん

東京府下に在住して一家の生計を立つる者ハ男子ハ其家族の女子(則妻、母、姉妹の類但し朋友にても苦しからず)一名以上を同伴する者、女子ハ其家族の男子(則夫、父兄弟の類但し朋友にても苦しからず)一名以上を同伴する者ハ其職業の何たるを問ハず總て會員たる事を許す但し會員一同協議の上不都合の者と認定するものは入會を謝絶する事あるべし

當會ハ務めて會員一同の親睦和合を專一とするなれば假にも喧噪野卑の擧動を嚴禁す」會費ハ一回一名金貳拾錢と定む」會場及び會日ハ其都度幹事より報告すべし」其他不審の件ハ幹事に問合せ承知すべし

○歐洲各國結婚者の平均年齡　近年歐洲各國に於て結婚者の年齡を見るに露西亞にてハ男子二十五年二ヶ月、女子二十一年五ヶ月○英吉利にては男子二十八年七ヶ月、女子二十五年五

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

ヶ月。普魯西にては男子二十九年二ヶ月、女子二十六年。佛蘭西にては男子三十年二ヶ月、女子二十四年九ヶ月。伊太利にては男子三十年二ヶ月、女子二十五年四ヶ月。和蘭にては男子三十年九ヶ月、女子二十八年。瑞典にても男子三十一年一ヶ月、女子二十八年三ヶ月。白耳義にては男子三十一年三ヶ月、女子二十八年五ヶ月にして我が日本の男女平均年齢は男二十二年十ヶ月にして女十九年四ヶ月なりと云へり

○長榮女塾　小石川區小日向臺町なる同塾の事は已に本誌第六十四號にも鳥渡掲載せしが去十一日午後第三時より定期卒業式と講堂新築の開堂式とを兼て擧行せられ幹事の報告を了りたる後同塾にて作られたる唱歌をオルガンに合せて生徒に歌はしめ牧師小川義綏氏の演説もあり生徒大高坂たけ女も演説しその大要は「妾等は本塾を卒業して後唯た學校の敎員となりて人を敎育する事のみを以て任と爲す可らず一方には又一家の妻と爲りて子供を能く養育するの道も知らざる可らず之と知るは最も必要なり妾等の聞くところに據れば邦國の盛衰は全く賢人智者の多くあるとなきとに由ると云ふ事にて國家の隆盛と計るには賢人智者を多く造り出すに若かず而して史乘に徵すればゑらい人物は何時も賢母の腹より出でざるはなし妾等螢雪の功を積み品行を端正にして賢母となり我國に於て賢人智者を多く造り出さゞる可らず妾等の任は實に重大なり智を硏き行ど正くして今日玆に集りたる貴姉と共に心を同じして大よ力を盡さんことと望む」云々なりし夫れより豫科卒業生嶋浪江女の祝文を朗讀せられ次に杉本そが女の通辯にて丸岡三四女と中村照女の英語演説あり又大高坂たけ女の通辯にて豫科一年生にて當年九歳になる丸岡ます杉本よしの二少女の英語演説ありしが中々上出來にて早鶯善く囀ると評するも可ならんか倘ほ同塾新作の唱歌は乃ち左の如くなり

進めよ進めをみな子ら、力のかぎり身をくだき、よろづの國と諸共に、立ならぶまで進むべし　進めよ進め國のため、夜を日につぎて怠るな、夜光の玉もみがゝずば、いかで光をかゝやのさん　進めよ進め家のため、文の林よわけ入りて我日本よ咲匂ふ、櫻にはぢず榮ゆべし　玉の光も花の香も、いつかは共に消失て、殘るは人の名のみぞや、進めよ進めをみな子ら、

○共立女子職業學校　神田一橋通町の同校にては昨今陶器畫專修の女生徒十名を募集中なるが此陶器畫は東京職工學校の雇敎師マフチル氏の發明に係る者にて已に陶器畫の敎師

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

跡見玉枝氏を聘し重に外國人の好む書と敎授する筈なり生徒ハ三ヶ年にて卒業し卒業の後ハ實業に就かしむるものなれば將來實業者たらんと欲する者に限り入學を許すとの事なり

○千葉敎育總集會　千葉縣内小學敎員の組織せる千葉敎育會ハ本月一日より三日まで千葉縣々會議事堂に於て第十回の總集會を開かれたり一日ハ前年度の庶務會計の報告を爲し且本年度ハ會長副會長の改選期なるを以てその投票を爲せしに會長にハ尋常師範學校長平山晋氏副會長にハ同敎頭佐藤亀世氏が當撰し同日の來會員ハ二百四十名なりし二日にハ同會規則改正の討議及同縣知事船越氏の演説等あり同日の來會員ハ二百七十名三日にハ知事書記官各課長等も出席せられて早朝より大日本敎育會員宮崎道正(敎育の程度)杉浦重剛(日本敎育談)鳥居忱(音樂の理論及實地)千葉敎育會客員能勢榮(手の力)下野敎育會委員大村樹(生徒の訴)東京敎育社長日下部三之介(敎師の組合を設くるの必要)等諸氏の演説あり一人の演説終る毎に歐洲管絃樂の合奏等ありて中々の盛會なりしと聞く

○舍告　前號より雜報に記したる如く近頃處々に演説ありてその筆記の掲載すべきもの又ハ雜報等澤山溜り居り候に付列女傳ハ本號と次の號ハ見合せ置候又是迄ナショナル、リーダーの直譯と紙尾に掲載致候得共僅々一ページ程づゝ掲載するも到底看客諸君の御望を滿すに足らず夫れよりも必要の事を多く記載する方が宜しからんと存じ候間本號より掲載致さず候若し又右直譯を御覽になりたき方有之候ハゞ近來ハ英語獨修の書籍數多出版に相成八九錢にて購求められ候間代金御送附あらバ何時にても御周旋申上候也

◎學藝一斑

○心意發育論

心意發育の論ハミル、ベイン、カーペンタル諸氏の未だ唱へざりし所のものたりジエームス、サレー氏(英國ケンブリッチ大學、ヴヰクトリヤ大學、倫敦大學等の試驗官)に至て始めて現ハるゝ所の議論なり氏ハ千八百八十四年即ち明治十七年を以て一書と著し敎育の理論に關し心理學の應用を論じたり」抑も心意論とハ何ぞや人類の心は金石の如く終始不變なるものにあらず始めは單純簡疎なるも時期を追ふて發育し次第に錯雜緻密なるに至るものなりとの説是れなり此説にして果して信ぞべくんバ格段なる心意の狀態を生ずる事情は啻に身躰上の事情

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

と直ちに其狀態に先だつ心意上の事情のみならず別に遠く先だちたる事情をも含むべし然るに昔時は天帝既に初めより完全なる人類と造化し玉へりとの信仰流行せしが爲めに進化の理世に顯はれず隨て心理學も亦進步せざりしなり英國のスペンセル氏は萬物進化の哲理に基き心理學の原理を著はし大に此事を論じたれど數年の間著しき影響を見るに至らざりし其後ちダーウヰン、ハックスレー、チンダル等の諸大家粉骨碎心已に此理に依て事實を觀察する者續々現はれたり發育と云ひ進化と云ひ其義は同一なれども今便宜の爲に之と區別すべし發育とは幼年より成年に至る迄の心意の進步を云ひ進化とは草昧より開化に至る人種一般の進步を云ふ而して此宏大なる事實の範圍に四大區分ありて互に相關係して相ひ離ざるものなり曰く經驗曰く發達曰く遺傳曰く進化是れなり語を換へて之を云へば此四種の事情は格段ある心意の狀態を生ずる所以の事情にして即ち其遠因を云ふ可き者なり余は是れより順次此四種の事情に關して仔細に說明する所あらんとす（未完）

◎論說

左の一篇は去る三日一ッ橋通り帝國大學講義室に於て開きたる東京婦人敎育談話會にて矢田部良吉君の演說せられたるものを筆記し同君の校閱を經たるものなり猶辻新次君永井久一郎君及び貫名綾子女史其他の演說も筆記したれば漸次本欄に於て揭載すべし

○婦人の當に學ぶべきものゝ一二

矢田部良吉君　演說

貴婦人方私は今日此席にてお話をせよと御依賴を請ましたが最初實はお斷と致しました併し退て能く考て見ますると折角のお賴みに對しお斷り申して仕舞も不本意の至りで御座いますから不肖ながらお受を致す事にしました去りながら私如き未熟なものが貴婦人方に向ひお話するも何の役にも立たず所謂釋迦に說法とは思ひますが私が眞底善いと思ふ事を申上げる積りで御座ますから暫時お聞き下されて其上で少しでも取り處がありますならば私の大なる幸で御座ります尤も私は其實婦人談話會と申す會なれば會員方が只敎育上の事に就て互に談合位の事と思ましたが只今此處に來て見ますると聽衆も殊の外多くして堂々たる演說會の有樣なり演說する積なれば少し腹案の立方も異ますが私は只お話する積りで參りましたゆゑ演說にする樣な立派なる意見を持ませぬ左りとて折

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

角來ましたものを空く歸るも殘念なればお話する積りにて考付た意見を此席に於て一應述べませう貴婦人方宜く右の趣を御諒知の上お聽きあらんことを希望致しまそ

偖貴婦人方が此集會をお催しになるに就ては固より色々の善き目的が御座りませうが私の推察致しまする所では貴婦人方即ち日本婦人の地位を高くする事は必ず目的中の最も大なるもので御座りませう元來我邦にては婦人を輕蔑するの習慣がありまして婦人の敎育をば甚だ踈末にして置きましたから婦人には學問知識のある方は男子に比て甚だ少ふ御座りましたが近頃男子の敎育が益々盛になりて來ますに從ひまして愈々男子と婦人との懸隔が甚しくなつて參りましたそこで斯くてはならぬと婦人方が大に憤發せられて此頃は處々に女學校が興ることになり年若の婦人は勿論既に嫁して子供の二三人もあるかたでも學校へ通學することもあるやうな時勢になりました又學校へ通學せざる方でも御自分の宅へ敎師を招きて勉強なさる方もあり又は自分でポツ々々學んで居る方もありませう斯樣な時勢となりましたから此會の如き性質のものも興ることになつたので御座りませう是は實に結搆なことで我國の爲めに喜ばしきことで御座ります

偖婦人の地位を高くするには敎育が肝要で御座りまそが敎育と云ふとは甚だ廣いことで色々の事を含で居ります例へば此迄婦人方は大抵裁縫のことは一通り心得て居られましたが尙此上にも益々此事を進めて日本服のみならず追々我國に行はれ出しました西洋服の仕立方を學ぶも敎育の一部で御座ります又是迄婦人方は大抵皆多少書物を讀み文章を綴られましたが尙此上にも今一層雅言即歌言葉を研究して立派な和文を綴り和歌を詠むことを勉むるも敎育の一部であります又更に多く漢籍を讀で四角な文學の大先生をならうとして勉むるも敎育の一部と云へども矢張一部です此外敎育の部に入るものは澤山ありますが私の考にては現今婦人の敎育上最も大切なものゝ一つは外國語であらうと思ひます是は婦人にのみ大切と申す譯ではなく男子にも甚だ大切でありますが私の外國語と申そのは勿論英、佛、獨の如き歐羅巴の國の語を云ふのでありますます昔は兎に角今日に至りましては外國語に通じて居らなければ充分の智識を得ることは出來ませんそして婦人に智識がなくては其地位を高くすることは出來ません外國語と申すものは理學、化學、衛生學の如き人生必要の學問をする爲めに要用なるのみでなく子供の敎育にも廣く人と交るにも甚だ要用で

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

あります又之を知て居れば人の娯樂ハ大に増すもので我國に比類のなき外國の小說を讀むとも出來外國の事を委しく知るとも出來ます

（未完）

左の一篇は過般日本橋區本革屋町なる常磐小學校に於て西村茂樹君が日本弘道會の事に就て述られたる大要を記者が筆記したるものにて固より同君一夕の考を話されたる事なれば同君の演說と云程にもあらざれども近ごろ moralist 即ち道德家の聞えある同君の起發に係る學會の事なれば同會に望みある人も多くあらんずらんと思はるゝを以て之と玆に掲載致しぬ

○日本公道會に就て一言す　　西村茂樹君　演述

道德とハ諸君も知らるゝ通り修身齊家之を大にしてハ治國平天下の事なれば別段深き解釋を要せぬことなるが今日々本人にハ此道德が盛に行ハれ居るや尤もその盛なるや否を定めるハ人々の見る所に依て異なるものなれバ今日の有樣を觀て盛に行ハれ居ると謂ふ人もあるべし諸君ハ青年なれば昔の有樣を目擊せられぬゆゑ比較の取り處なけれども愚老ハ白髮の老人なれハ昔者封建時代の有樣を實地に視て居るに付比較することが出來る之を較て見るに今日の道德の地位ハ封建時代の中等の人士に比して見るときハ餘程退歩して居るなり十年前より工藝及び各般の學術等ハ日進の勢にて昔よりハ幾層倍も進歩したるのみならず將來益々進歩して底止するところを知らざる mental education（學術）に引換惟り道德のみ退歩したるハ何事であるか我々日本人民たる者ハ國家の爲め且つハ一身の爲め能く注意して力を盡さねバならぬ所ならん尤も今日とても昔に勝る道德家もあらんかそれハ千萬に僅か一二に過ぎずして全躰に就て云ふときハ昔よりハ今日の道德ハ劣つて居るに相違なし然らば將來に向て少年の道德ハ進歩するかと云ふに是も今日の有樣にてハその目算立たず却て退歩の傾きあり故に若しも今日輕々に看過し成行の儘にして置くときは將來日本國ハ如何なるべきや之を思へバ氣遣ハしき事なり或人ハ道德の衰たるを頻りに歎息すれども唯歎息なすバかりにてハ何の役にも立たぬゆゑ愚老ハ此道德を進めんとを自ら奮つて盡力する覺悟である今より十餘年前封建の制を打破て郡縣の制を立てられ即ち日本國に一大改革を行ハれて寔に結構なる新天地を作り出したるハ政治上に於てハ美事限りなきことなれども此改革に續きて三百 年來遵守し來りし儒道も

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

自然に其勢を失ひたるにより道德ハ爲めに大層妨害を受け殆んど衰頽を極めたり左れど最早既往の事を論じても詮なき事なれバ改革も業已に十數年の前に在りて今日ハ治世となりたるゆゑ敎育を盛にする樣に盡力致さねばならぬ況して日本ハ曾て道德の行ハれたる處にて今日こそ衰頽して居れどその氣風、習慣ハ猶ほ遺存してをるゆゑ之を鼓舞振作するときは力を施すと少ふして功太だ多のらんと存ず夫故に今の時に於て敎育を盛にしたらば至極日本の爲になるに相違なし尤も愚老が敎育と申すは惟り學校で敎ふる事柄のミを指さずその他にも數多之あるなり今日來會せるハ敎員諸君なれども敎授法幷に學校管理法等の一部を說話をる積りにあらず日本國民の一般に行ふべき道德を進むる事に就て談話するなり左れど諸君ハ日々人と敎て現在その身を敎育部内に置かるゝに付此事を謀るに甚だ關係近くあるゆゑ今日諸君を煩はした譯で御座る諸君も道德を深く信じて之を躬に行ひ人をも感化したならば世を益するとも少からず又一方に於てハ世の信用を得て日々從事せらるゝ敎育上に一層の光を添ふるに違ひなきこととならん

（未完）

◎新作物語

○閨の徹夜燈　第二篇　南翠外史　述

第四　二人の少年二人の少女（四）

お覺ハ夢にまで話しの中の人物を尋ねつゝ敏子が終りハ如何ぞあらん靜子が柔順なる心操にハめでたく美しき果をや結ばんと思ひ續けて夜を明しけるが唯だ何となう其の事の思はれて課程に就くにも心の餘處を捗られければお福美ハ目敏くも看破りて「お覺ハ話談に聞惚つるよ今我が愛らしき娘が心にハお敏の才智と慕ふやらんお靜が物靜かなる優しき心にや拘ゝつらん事を設けて聞糺したる上話說の道行を變更せでハ叶ふまじと」思ひけるが其の日ハ何事をも語らずして止みにき既に日も暮れ果て晩餐とも終り夜の事も果つるを以ていざや寐まらんとお覺の手を把り臥床の内に入にけり

お福美ハお覺が後の話しを聞まほしと思ふ如き面色として先づ枕邊なる烟草盆を引寄せて烟りを長く燻らしながら「お覺やお前さんハ靜子さんと敏子さんと何方が贔負に思つて居るイ」と夫れとはなしに問ひ試むればお覺ハ是れが答へに窮して何と答へたらんにハ母上のお心に適ふべきや我が心に思ふ

三百九十三

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

ましを直ちにうち出て答へんか夫よりも先づ母上の氣色を伺はんにハと思ひ定め「爾うですねェ何うも妾にハ未だ何方とも言はれませんが」お福美「でも何方の贔負に思ふ人がなくツてハ濟なからうマアお前なら誰になる方が宜いと思つてお出だェ」お覺「サア……何うも……」お福美「夫んなに考へる事ハないぢやアないかサア何方だか言つて御覽」お覺「笑はれるの知らんお叱んなすつちやア厭ですョ」お福美「誰れが叱りませう此方から聞いた事ぢものを」お覺「夫れでハネ阿母さまアノ妾しの考へますにハネお敏さんと仰やる方ハ大層御發明で入ツして何かゞテキハキと活潑におなさるけれども妾しの考へでハ何かのお出來なさる代りに少し女らしくない處ハありますまいのマア早い話しがお靜さんの優かなのを附込んで自分の好な遊び事となさるし夫れに禮二郎さんとか仰やる方が世の中に遲れてお出なさるのと見込で大層給の講釋と云たり併賀の局の事を言立て何だか馬鹿にするやうな氣振がわつたでせう、だから妾しハ同じ事でも此んな強がつた事を仰やらないと大したお孃さんだと思ひますけれど些と何うも女にハ何とかだらうと思ひますハ」お福美「夫れぢやア何だネ敏子さんお轉婆だからお前ハ好ないとお言ひのだネ、ぢやア靜子さんハ何うだェ」お覺「妾しの考へが間違つてるかハ存じませんけれどもお靜さんの方ハお敏さんといふ者が側にあるからこそ餘り優か過ぎて何だかお心よしの樣に見えますけれども是れを一人別にした日にハ大變に優美とのいふ風で上品な高尚なお孃さんでせうと思ひますと女ハ餘まり出過るよりハ少し控へ目の方が女らしくッて而て奥ゆかしくッて宜からうと思ひます」お福美ハさてこそ仁恕の心に入りつるか然らば是より物の注意と心の働らきとを説明して我が思ふまゝの摸型を化さんものをと思ひけるが「お覺ハ夫程に優美といふ事に氣が着きましたか併しお前さんハ幼少のうちから氣があら〳〵しくッて此の阿母さんを困らした事ハ今も覺えて居りますか」と心に鍄とさしければ誰しも幼き時の事を操返さるゝ程面白からで恥かしきものハあらぬに况て其の身の幼稚が自から思ひ出してさへ深山の奥の一本楓人知らぬ紅を染むる事なる程なれバ此の時滿面に紅を潮して羞恥と帶びたる其の風情以前にハ增して愛嬌づき臈闌けたる姿の最とも愛たく見られしかば母のお福美が身に取りてハ是れに上越す嬉しさハあるまじく我が兒と見る目に自づから笑の動しハ宛もあるべし

いでや語らん能く聞き給へ御身が慕ふ靜子の身の末ハ果して

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

如何なるか御身の厭ふ敏子が終りハ厭ふが如く成り行くに先づ其の續きを語らんと言はねど其の身を半起してお覺が方をうち見やれバ彼方も此方に目を屬たり

然れども禮二郎ハ其の容貌の我れに疎き緒口を顯はしたりといふと知らざれバ詞を繼ぎて

マア日本で勇婦といへば今申した方々位のものでせうが賢女となると隨分澤山よわります其の内にも亦た才女といふのがわりましてお敏なんぞハ彼の清少納言に比べても宜しうございませう、實ハ私しも過日の共進會に清女の香爐峯の圖を認ためて賞状を貰ひましたのサ

お敏　オヤ爾うでございますか彼の簾を褰げて居る圖なら妾しも

二百九十五

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

拜見致しましたヨ實に大層お美事に出來ましたチエ

禮二郎　御賞美に與つて甚だ赤面致します有難い事には後のふ後からと彼の圖を注文されまして過日もお靜さんの御所望で那處の御宅へ一枚認めて差し上げましたが、オ、爾うだッた今朝御使ひが來てお靜さんの短冊を頂戴去ました

お敏　お靜さんのお歌でございますか何ぞ妾しにも拜見を

禮二郎　お安い御用です確か此處にア、有りました〳〵

お敏は其の短冊を手に取て見るに六花散しの模樣の上に

　玉簾褰ぐる袖にはふかな雪にかくれぬ君が言の葉

お靜さんはお書が美事なのに夫れに歌が大層お上手でございますから眞個にお羨ましうございますヨ

飽まで愛嬌深き眦に笑ひを含んで述べにけるお敏の顏を禮二郎は始めて倩々とうち目戍るに未だ婀娜氣なき蕾ながら開かば百花を壓すべき櫻桃の色芙蓉の風致なの〳〵に棄難き媚あれば斯る心には疎かりし禮二郎も此の令孃こそ誠に親しむべき者なれと一たび意中に浮雲の靉靆きしぞ怪しかる

＊　＊　＊　＊　＊

お福美は更に語を繼いで語り出さんと思ひしが此の時已に十二時に近きければ話說を止め母子諸共に枕に着きて短か夜を明しさて其の翌晩となりにけり

◎家政要報

○西洋料理の簡便法

◉蠣の羹汁　肥たる蠣一升程を洗ひ置き一合の湯へ鹽と胡椒を入れ火に掛け煮沸たる頃に蠣を鍋に投て五分間煮て（五分より多からず少からず）バタを小さき匙一杯程加へ攪き廻し乳一合許りを入れて鍋を下ろし直に食すべし若しも下ろしてより久しく立て食する時は美味を失ひ不消化物となる宜しく注意すべし●芋の羹汁　肉一斤を鍋に入れ水を肉の少し上迄で充て汁の肉より出るまで煎つめ又馬鈴薯六ツ七ツ許と前以て煠て裏漉に掛け肉と混合再び火に掛け煮沸たるころに乳一合と玉子、鹽、胡椒、各々少し宛を入れ能く交せ食に供すべし●豆の羹汁　凡そ一夜程豆を水に浸し翌日肉二斤と豆と二升を水へ入れ三時間程火に掛煮つめ一度下して鹽及び胡椒を交せ再び火に掛け煎沸てより漉て呑べし●唐黍米の羹汁　鷄の腸胃を去腹內を洗ひ細に切り水二升程を注ぎ實いりたる唐黍米を四本斗り削り取てその軸を肉と共に煮てより實を入れ一時間半程煮つめ出來上れば肉は皿に軸は鉢に取り鹽及び胡椒を振り掛けて食すべし若し肉の煮潰れざる程に煮ときは佳き

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

燕肉を製し得べしその法は先づ砕破たる卵若干と大なる匙に一杯のバタを一合のソチスへ交せ（ソチスは雑物を除き汁のみ用ふべし）火に掛け煮沸て水にて解かしたる小麦粉を交せ肉に掛けて食すべし

○肉の部 ●生大口魚の料理 食鹽を少し投じたる水へ魚を漬け夫れより出して魚形の布袋へ入れ湯を注ぎ煮沸し置き別に二匙の小麦粉へ鹽少し許りを交せ乳一合を徐ゞ注ぎ断ず攪き廻し煮沸たる頃にバタ一匙と加へ一分間過て鍋を下ろし魚へ掛て食すべし●鹽大口魚の料理 夕の八時頃より魚を微温湯へ漚し一時間過て再び取り易へ翌朝ゞ至り能く洗ひ鹽を落し食する二時間前に水に入れ（肉を硬くする故なり）又出して湯を注ぎ半時間程煮沸しめ前に記したる麦粉の汁を掛けて食すべし

（以下欠號）

○氷の相場 目下函館氷の相場ハ一斤壹錢三厘、近縣及び玉川地方の天然氷ハ同八厘位の由にて随分下落の方なるが暑に入らば必ず騰貴するとならん一躰の模様ハ昨年の寒氣強からざりし爲め解け易く近廻りのものハ取り分け解方早きが爲め製造元も昨年よりハ仕込減少の姿なりと聞く

○養蠶の景況 野州足利地方の織物ハ近年海外輸出品の外一般の内地向の需用品ハ年々減少せるより本年ハ養蠶に志すもの俄かに増加したる爲め桑葉の払底を告げ三十貫目に付壹圓五十錢より二圓となり夫れより漸次騰貴して二圓五十錢乃至三圓甚だしきハ一時四圓四五十錢の高直を現はしたることさへありし程の次第なれば折角に飼養し來れる蠶兒を河水に投ずる者も多く流石に廣き渡良瀬川も一時ハ水上蠶兒の絶間なき有様なりしと又桑葉の高直をも厭はず辛抱して飼養し上げたる者ハ本年の絲況意外に不氣配なるより先月上旬壹圓に付二升なりしもの既に去る三十日ゞハ三升七八合に下落しても猶は買人なき程なりし由實に養蠶家の困難想ふ可し

◎御伽草

○數學問題

甲乙丙の三人にて働くときハ一日三分一にして一業を成す甲一人なれば三日乙一人なれば四日にしてその業を成就すと云り然るときハ丙一人なれば幾日を費すべきや（愛知縣名古屋武平町熱田よね子出題）

○考物の題

左の詩ハ何を詠せしや

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

莫レ恨雕籠翠羽殘、江南地暖隴西寒、勸レ君不レ用ニ分明語一、語得分明出轉難、(伊勢安濃津梅田生出題)

○六十三號數學の答式

$1 \div (\frac{1}{8}+\frac{1}{7}) = 2\frac{1}{10}$ 答二日十分一 (答者)東京神田駿河臺篠崎なを子、同築地二丁目林起具子、越前福井坂田鈴子、兵庫縣尼ケ崎天嶋兼子、佐賀縣小城郡多久村多久まき子

○六十三號考物の答

○無の字なり(答者)東京築地壹丁目春内君子、同芝口壹丁目水野隆一、同芝烏森嶋みつ子同神田表神保町梅田幸一郎、越前福井坂田鈴子、佐賀縣小城郡多久村まき子、千葉縣千葉濟水春子

◎寄書

○幼稚保育の心得　　岡山　秋蝶園主人寄贈

世間の親達は誰とて其子供を愛せざるはなし母の懷裏に在る頃より成人の後までもろの健康を祈りろの幸福を願はざるは莫し其苦心も一方ならず然れども從來我國の子供を保育するにその法を失ひ却てその身に禍害を生ずること寡からず寔に嘆はしきことなり近來教育の道大に面目を改め隨て幼稚保育の法も大に整頓し外は幼稚園より內は家庭の敎育まで幼稚の發育を助けることと大ならんとするは甚だ賀すべき事なれども尙は世間の景狀を見れば舊來の陋習に拘泥するもの鮮からず余太だ之を憂ひろの最も卑近なるもの數箇條を列擧し某婦人に贈りたることあり素より事新らしく述立る程の事にあらざれども亦或は舊來の陋習に拘泥して移ることを知らざる親達の此に注意せられたらんには未だ必ずしも少補なしと謂ふ可らず若し夫れ世間保育の心得ある人に對しては敢てその閲讀を望にはあらざるなり明治丁亥の歲夏六月秋蝶園主人かはる述

頭の毛を剃るべからず　頭は心の働を營むべき甚だ大切なる處なれば能く保護せざるべからず而して幼兒の頭は至つて柔なるものにて傷き易ければ決して毛を剃る可らず

抱負ことを少くすべし　幼稚ときは抱き又は負ふことあれば手足の動きを十分ならしめずして血液の巡環を妨け身躰の發育に害あり且つ常に抱き又は負ふときは自ら成長の後も他人に依るの習慣を生ずるとあれば餘り抱き又は負ふと勿れ

頭を打つべからず　少兒の頭は甚だ柔なるものなれば少しく氣隨を云ふとて妄りに打つときは大に之れに痛を生じて心の作用を鈍くするものなれば決して頭を打つ可らず

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

勞働に慣れしむべし　人ハ勞働けバ勞働くほど身躰も健康になり智慧も増すものなれば姑息の愛に溺れて衣服の着更寐起等のことまで餘り細に干渉りたらんにハ怠惰の癖を生ずるものなれば成るだけハ親の手を下さず幼稚をして勞働に慣れしむべし諺言にも可愛兒にハ旅行といへり

無理に眠らしむべからず　勞働けば休息あり眠は即ち躰を休ますに欠ぐべからざることとなれども眠の餘り過るハ宜からず故に親達の勞働の妨碍なりとて叱りて眠らせ又ハ無理にチンチコなど唱て眠らす可らず

玩弄物を撰擇べし　幼兒ハ何にても手に取れバ口に入れるものなれば彩色物などよハ別して氣を付けざれば如何なる害を生ぞも圖られず成るべく人物、器具、禽獸、魚介、果實、花葉、の摸造品、石盤畫、寫眞、積字、等を與へ漸次に其名稱、性質等を談話せバ大に其智慧を增し惡戯を防ぐに足るべし

幼兒の遊戯を止むべからず　幼兒は事物の善惡を覺らず此より彼れと順次に爲すものなれバ危き事あるか大切なる器具と損するに非れば其心に任そべし若し強て止むれば失望して自ら頑固となる者なれば惡戯を爲すあれバ他に善き遊戯を示して之れに移らしむべし

幼兒の希望ハ成るべく達せしむべし　幼兒ハ素より無分別なれば父母に對し無理なる事を云ふべけれど成るべく其身躰の健康を害し惡習を養成する等の外ハ其の希望を達せしむべし然らずして叱り懲すなどせば其良性を損ふこと鮮からず

懇切に告げ知すべし　幼兒ハ事物を知らんと欲すること強く何にても新らしきものを見れば直に疑を起し一々問ひ試むものにて斯の如くにして其心の働作も強くなるべければ勉めて懇切に其問に答ふべし

虚言を以て教ふべからず　親達が虚言を吐けば幼兒も之に倣ひて又虚言を吐くものなれば何事にても正直に云ふべし

猥褻なる事を聽すべからず　幼兒の前にて猥褻なる談話や謠曲をうたふべからず特に從來の手鞠唄、子守唄抔よハ猥褻なるもの幽怪なるものあれば宜く擇みて採るべし

妄りに叱り懲すべからず　幼兒に事物を敎へ示し程よく勵まして其ことを心を用ひさするハ肝要なれども出來榮不充分なればとて妄に叱り懲すハ宜しからず殊に罵り嘲けることハ努め謹しむべし然らざれハ自分の惡しきことにても惡しきこととゝ思はず却て罵り嘲けることを覺え我より弱きものと見れバ直に罵り嘲けるやうになるべし

（以下次號）

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

遞信省認可

廣告

しらせ ●つきに三くわい 一のひ うりだし

●はやがくもん かなのしんぶん 一がう八ぐわつ一にちうりだし

●一まい一せん五りん●十まいまへきん十三せん●いろはぐみにいりたるひとは十まい十二せん●ゑんぱうは一まいにつき一せんのゆうびんぜいをそへおくるべし

このたびおはさかに いろはぐみと いふものを まうけて かなのくわいの しゆいを ひろめんがために まいつき 三どづゝ はやがくもんかなのしんぶんと なづくるものを すりいだして ひろく よに ひろめんと するにつゐては つきにいちどづゝ うた はつく などを あつめて これとふろくにすりたてゝ しんぶんにそへて むだいかにて しんせうす なをこういちのひとへは いろはぐみの しるしのいりたる べつせいの びれいなる まきを さしあげまうすべければなにとぞ きそふて ごにうく あらんことをこふ

●かなのしんぶん だい一がう ふろく べつずり

●わか いなづま しのぶこひ

●きやうか おどり ちぎるこひ

●はいかい つきみ きく むし（月見、菊、虫）

●せんりう い と ろん はな（糸、論、花）

●かさづけ のちのため とける ものになる

みぎいづれも、一だい二くづゝのこと ●ゑいらうは なるべく かなにて わかりやすく したゝめるべし●ゑいそうには じぶんの くにところ ばんち なまへならびにはいめいを くはしく したゝめ をくるべし●にうしきは いつさい いらず ●ようくしたるものは かなふみしんぶんを かうのぞむ あるものとす●しめきり七ぐわつ十五にち

なげこみどころ

おほさか ひがしく きたしんまち にちやうめ はねやまちのど

いろはぐみかりじむしよ

みなみく さんきう ばじうなきだに みなみへいる

をなじく

うめむらひこしち

舍告

本誌代價前金相切れ候ときハ帶封を朱書に致して御送附申上候に付其節ハ早速御送金被下度候也

積文舍會計掛啓白

本誌代價表		
壹冊	正價金四錢	此郵税壹錢
拾冊	同金三拾八錢	同 拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同 二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同 三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同 四拾錢

但シ東京十五區内郵税不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間ハ御誌配達不仕事に相定候に付御注文の節ハ必す代價郵税共郵便爲替又ハ通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵券代用ハ壹錢切手ニて一割増し●郵便爲替ハ芝區芝口郵便局へ御振込み其爲替券と本舍へ御送附可被下候 但し東京十五區内ハ御斷り無之間ハ引續き配達仕候

發行所 東京々橋區南鍋町貳丁目拾壹番地 積文舍

持主 松本義弘

編輯人 原口令成

印刷人 初鹿野鎌五郎

大賣捌所 東京芝區愛宕町一丁目三番地 修正堂

同 神田區淡路町 同 巖々堂

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY